

おおくす



渋川小 HP の QR コードです

たくさんの方のご支援・ご協力をありがとうございました！

校長 水谷 茂樹

今年の夏休み期間中は、異常な暑さの日が続き、大切に育てていた花壇の花がどうなってしまうだろうと、大変心配をしました。

「ちょこっとボランティア」として、朝と夕の水まきにご協力をいただいた保護者の方や地域の方、子どもたちや教職員のお陰で、花壇の花は枯れることなく、すくすくと育ちました。

特に活躍してくれたのは、右の写真の子どもたちです。私が朝出勤すると、花壇の横のテーブルには何本かの水筒が並び、その横で、楽しそうに水をまいている子どもたちを見ることができました。当番だから仕方なくということではなく、率先して活動する子どもたちを見て、本当に嬉しく、誇らしく思いました。



現在は、下の写真のように、150周年を祝う花壇のデザインとして、白いサルビアの中に、赤いサルビアで形作られた「150」という文字が、色鮮やかに浮かび上がっています。



この後、花を一度摘みますが、9月26日(火)の学校公開日から月末にかけて、次々にきれいな花が咲いてくると思います。体育館と校舎の間にある花壇にも、ぜひお越しください。

9月14日(木)の朝、印場東部シニアクラブと庄中シニアクラブのみなさんが、社会奉仕活動・清掃草取りとして、渋川小学校の正門横やロータリー、体育館や植え込み周りの草取りをしてくださいました。

40名ほどの方が次々と学校に来られ、夏の間しっかりと伸びた草を、黙々と取ってくださいました。8時前あたりから子どもたちが登校してくると、「おはよう!!」「いってらっしゃい!!」「がんばってね!!」などと優しく声をかけてくださいました。子どもたちは嬉しそうに、「おはようございます!」「草取りありがとうございます!」と返事をしながら、その横を歩いて行きました。



地域の方と子どもたちがふれあうすばらしい光景を目にして、朝から温かくて清々しい気持ちになりました。草を抜いてもらって、校訓「明るく 清く 正しく 強く」の刻まれた石碑が、一段と輝いて見えました。このようなふれあいを、今後も大切にしたいと願っています。

夏休みのチャレンジ

夏休みに、【家族の人とチャレンジしよう】ということで、家族や地域の人にあいさつをしたり、「ありがとう」と言ったり、「ありがとう」と言われたりすることに挑戦してもらいました。

自分とお父さん・お母さんで取り組んでくれた子、自分とお母さん・おばあちゃんで行ってくださった子、自分だけで挑戦してくれた子など、取り組み方は様々でした。

「99」ポイントの子は、やはり「ありがとう」と言ってもらうのが難しかったようです。「125」ポイントの子は、「1日だけ『ありがとう』と言ってもらえなかった。くやしい!」と教えてくれました。満点の「126」ポイントの子は、「『ありがとう』と言ったり言われたりすると気持ちよかったです」そうです。中には、家族3人全員が「126」ポイントの子もいました。きっと平日頃からあいさつをしたり、「ありがとう」と言ったりすることが自然とできているのかなと思いました。

あいさつを交わしたり、「ありがとう」と言い合えたりすることは、人と人とをつなぐ上で、とても大切なことです。それが、自然と口にできるそんな渋川っ子を、保護者・地域の方と一緒に育てたいと思います。よろしくお願いいたします。

渋川小学校を支える「朝歌」の時間



渋川小学校には、朝の時間に、学級や学年で歌を歌う習慣があります。その時間を「朝歌(あさうた)」と呼んでいます。コロナ禍で、しばらくの間「朝歌」はできませんでしたが、今年は、ゴールデンウィーク明けから、「朝歌」が始まりました。火・水・金の週3回、校歌や音楽発表会で歌う歌を練習します。朝の学校に、子どもたちのすてきな歌声が響き、気持ちのよい朝の時間を過ごします。



今年は、次のような歌を練習しています。

- 「フレフレ、大丈夫」(低学年)
- 「ビリーブ」(高学年)
- 「群青(ぐんじょう)」(全校)

9月は「群青」を練習しています。この歌は、東日本大震災で被害に遭った中学生と先生が作った曲です。心に染み入る曲で、子どもたちも真剣に心を込めて歌っています。

【令和5年度学校保健委員会のお知らせ】

日時 令和5年11月8日(水) 5時間目 1~3年生、6時間目 4~6年生

場所 各教室で、Zoomによるオンライン授業

対象 全校児童、教職員、保護者(希望者)

テーマ 「目について学ぼう ~デジタル機器とうまく付き合うために~」

内容 外部講師の方とオンラインでつなぎ、目の健康や睡眠について考えます。

※ 参加を希望される保護者の方は、後日、案内を配布いたしますので、ご予約をお願いします。ぜひ、多くの方にご参加いただき、目の健康について子どもたちと一緒に考えていただきたいと思います。

どうだったかな?

